

博物館資料保存論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の文章の()にあてはまるもっとも適切な語句や文章を、それぞれア～エから選び、解答欄にはその記号を記しなさい。(各4点)

○ 壬申検査は、明治4年(1871)の古器旧物保存の布告を受けて、翌年に開催される(①)博覧会の出品物考証に備えるため、太政官正院に正倉院宝物の調査の必要性を申し立てたことに始まる。政府は、全国の府県に対し管内社寺などから(②)の目録を作成させ、古社寺の調査を博物館に命じた。

- ① ア. 内国勸業 イ. 文部省 ウ. パリ万国 エ. ウィーン万国
② ア. 宝物 イ. 御物 ウ. 文化財 エ. 優品

○ 重要文化財の修理について、文化財保護法では第34条の2において、(③)が行うものとしており、但し、管理団体がある場合は、管理団体が行うものとしている。

- ③ ア. 都道府県教育委員会 イ. 文化庁 ウ. 政府 エ. 所有者

○ 国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項<平成8年7月12日文化庁長官裁定平成30年1月29日改訂>では、公開の環境について、「重要文化財等の公開は、(④)、文化財に悪影響のあるガス、かび、じんあい等の発生や影響を受けない清浄な環境のもとで行い、展示する作品が展示の前に長期間置かれていた(⑤)環境との大きな差や、展示室内の温度及び湿度の急激な変化が生じないようにすることに留意」することを求めている。

- ④ ア. 大気汚染 イ. 自然災害 ウ. 人的破壊 エ. 盗難
⑤ ア. 自然 イ. 施設 ウ. 利用 エ. 保存

2. 次の①～⑥の用語の中から4つ選択し、その番号を記し簡潔に説明しなさい。(5つ以上を解答した場合は無効とする) (各5点)

- ① 枯らし
- ② 古社寺保存法
- ③ I P M
- ④ 曝涼
- ⑤ 最小限の処置
- ⑥ 1次レスキュー

3. ブロンズ像の屋外展示について、何を原因とした資料の劣化や汚損が想定され、それぞれどのように対応すべきか、200字以内で説明しなさい。(15点)

4. 動物のはく製をハンズオン資料として展示することについて、資料保存の観点から、その意義と問題点、対応策を200字以内で説明しなさい。(15点)

5. 17の目標が示されたSDGs(持続可能な開発目標)は、人類の繁栄のために必要な「未来の世界の骨格」と言われている。下記に示した10個の用語の中から5個以上を用いて、現在求められている文化遺産保全への取組みについて400字以内で説明しなさい。なお、用語の箇所には必ず下線を引くこと。(30点)

文化多様性、生涯教育、気候変動、強靱性、防災・減災対策、文化・自然遺産、
生物多様性、生態系保護、国際協力、パートナーシップ